

土懸濁液の pH 試験 (JGS 0211)

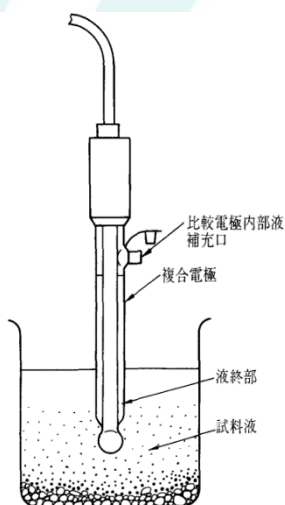
この試験では、土と水を混合したもの（土懸濁液）の pH を測定します。pHとは、水素イオンのモル濃度 $[H^+]$ (mol/l) の逆数を常用対数で表したもので、酸性、アルカリ性の程度の指標です。

試験方法

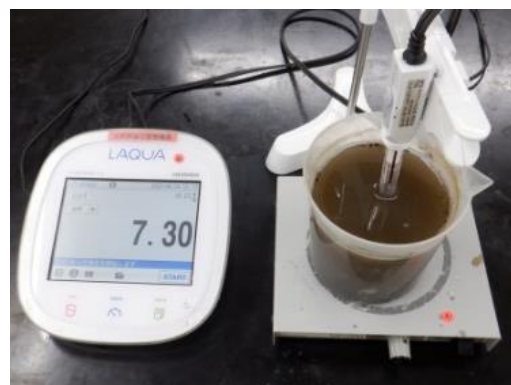
試験方法は、JGS 0211「土懸濁液のpH試験方法」に規定されています。
土に一定量の水を混ぜた懸濁液のpHをガラス電極式pH計で測定します。

代表的な測定例

試料名	採取場所	pH(H ₂ O)
ローム	日立市	6.7
ローム	千代田区	6.9
腐植土	彦根市	5.6
泥岩	大磯町	9.3
まさ土	大津市	6.8
黒ぼく	清瀬市	6.3
水底土	中海	7.9
沖積粘土	倉吉市	7.0
沖積粘土	品川区	8.4
沖積粘土	大阪湾	8.1
泥岩	東京都	4.0
有機質粘土	横浜市	6.2



pH測定の例



試験状況

結果の利用

試験結果は、土に接するコンクリートの劣化や鋼材の腐食といった構造物の耐久性、軟弱地盤や高有機質土に対する薬剤やセメントによる土質改良効果や安定処理効果の予測等に利用されます。また土のpHは、植生工における植物の育成や施肥にも大きく影響します。

測定例引用元：公益社団法人地盤工学会 地盤材料試験の方法と解説

